

2008 年

6 月 4 日（水曜日） - マルハン創業 50 周年 -

ご創業の地元として、心からおめでとうございます、そして、ありがとうございます。
す。 -

本日、横浜市のパシフィコ横浜で開催された(株)マルハン様の創業 50 周年記念式典にご招待を受け出席させていただきました。本市市民の皆さんも大勢出席されておりましたが、国内外のそうそうたる関係者を含め約二千人にも上る参加者の皆さんで圧巻の式典でした。

マルハン様は、50 年前の昭和 32 年に本市峰山町において創業され、平成元年に本社を京都市内に移転されるまで約 32 年の間、本社を峰山町に所在され、これまで、韓会長からは、本格的市民グラウンドである峰山球場の建設資金への多額のご寄付、少年野球大会へのスポンサーなど言い尽くせないご貢献をご発祥の地・峰山に対して賜っておりますが、地元として改めて深く感謝をしています。そして何ととっても、マルハン様は今や業界ナンバーワンのリーディングカンパニーであり、売上高約 2 兆円、従業員数約 1 万人、数々の各分野での社会貢献活動の推進、また最近ではカンボジアで本格的な銀行も設立されたとのことで、素晴らしい企業が当地からご創業されましたことは、草創の地元として、わが事のように心から誇らしく感じています。

そんな中で衷心よりの敬意とともに深い感動と勇気を賜りますのは、峰山時代の草創期には天文学的数字（昭和 50 年前後の時代に約 60 億円だそうです）の借金地獄の淵に直面せられた時期があつたにもかかわらず、筆舌に尽くせないご状況の中から、韓会長はじめ社員全員がチャレンジ精神とハングリー精神で努力に努力、忍耐を重ねられ、そしてその後の限りない発展へと大きな礎を築かれた、まさに不屈で限界をつくらぬ気概と心魂の軌跡であります。会長とともに歩まれた鈴木社長は「我々はあきらめずにここまで来ました。これからも、どんな困難に会おうとも、あきらめずに歩み続けるでしょう。解決できない問題もあるかもしれません。けれども、我々はあきらめない。」と記念誌の中で当時をふり返られましたが、「あきらめずに歩み続ける」というお言葉の中に、万人万象に通じる"向上発展への真理"の一端が確固として伏在しているように感じます。「あきらめずに歩み続ける」。本市の繁栄、発展へと末永く歩み続ける上でも、改めて道を歩む路銀としたいと思います。

本日の言葉:「自分の誕生日はプレゼントを貰うのではなく、親に感謝し「ありがとう」を言う日にしよう」（当日いただいた韓会長の語録集の中から）